



GREEN Rotary-Club

2012-2013年度 テーマ

国際ロータリー

「奉仕を通じて平和を」

R.I. 会長 田中 作次

地区方針

「心をひとつに」

R.I.2720 地区 ガバナー 岡村 泰岳

熊本グリーンR.C.

「絆を深めよう」

熊本グリーンR.C. 会長 山下 佳介



■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山下 佳介 ■幹事：本田 悟士 ■会報担当：江上 泰弘
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリー・クラブ週報

【2013年3月25日】

第1082回

2012-2013年度 第30回

【例会】

1.開会・点鐘 18:30

ロータリーソング「奉仕の理想」

2.食事と交歓

来訪者紹介

なし

友情の握手

会長スピーチ

山下 佳介 会長



桜も満開を過ぎて来ました。ちょっと日本の桜の満開時期を調べてみましたが、1番早い所は那覇で1月23日、1番遅い所は釧路で5月17日でした。同じ日本で4ヶ月も違うとは、驚きました。

先週末は、我がRAC主催のキンボール大会が県立大で行われ、熊本、大分のアクトとOB・OG、華友会、総勢40人くらいの参加がありました。私も娘と参加して、頑張ってきました。

それでは最後に言霊の紹介です、今日は「間に合う人間になる」です。

強さを極めるための心構えはいろいろありますが、一つだけ言うと、それは「間に合うこと」です。武道には「間合い」というのが存在するように、その道の達人は、普通の人に比べて確実に、間に合った技量や心構えを積み重ねてきた人です。間合いを外さないようにすることで、何事にも間に合うようになるのです。うっかり外せばかりの人を、「間抜け」と言うのですが、約束

を守るようになったり、あるいは優しさに気付くようになったり、日常生活の中で起きている事柄に目がいく、気付くという感覚を、間に合うと言うのです。色んなことに間に合うようになってくると、その人は強さを発揮できるようになっていくのです。

幹事報告

河島 一夫 副幹事

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①2015～2016年度ガバナーノミニー候補者推薦について(岡村ガバナーより)
貴クラブより、ガバナー候補者をご推薦されませんか。クラブに候補者がいらっしゃる場合は、5月31日(金)までに、ガバナー事務所までお知らせ下さい。

②「熊本中央RC創立25周年記念例会・懇親会」のご案内

日時:平成25年5月10日(金)

17:00～ 登録受付

17:30～18:30 記念例会

18:45～ 懇親会

場所:熊本全日空ホテルニュースカイ

登録料:8,000円

★熊本市域RCにあるクラブですので、是非多数のご登録をお願い致します。

③「第25回全国ローターアクト研修会」御登録の御礼(岡村ガバナーより)

標記会合の登録の御礼とプログラム冊子、記念バッジが届いております。(例会受付にて配布)

卓話
予定

4/1 「観桜例会」(於:泉里)

4/8 会員卓話 十時義七郎会員

4/18(木)「熊本北RCとの合同例会」予定 ★4/15(月)→4/18(木)に例会変更

4/22 「地区協議会」報告

4/29 例会取り止め(「祝日(昭和の日)の為」)

【熊本グリーンR.C.ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

■ 例会取止め・変更

<変更>

【熊本りんどうRC】

①3月28日(木)の例会は、夜間例会のため、同日19:00より「鹽(しお)」にて行います。

②4月4日(木)の例会を、木山弾正祭のため、4月7日に変更して行います。

【熊本西RC】

4月9日(火)の例会は、ニュースカイ4RC合同例会のため、4月12日(金)18:30より、全日空ホテルニュースカイ2Fにて行います。

【熊本西南RC】

4月11日(木)の例会は、ニュースカイ4RC合同例会のため、4月12日(金)18:30より、全日空ホテルニュースカイ2Fにて行います。

【熊本平成RC】

①4月10日(水)の例会は、ニュースカイ4RC合同例会のため、4月12日(金)18:30より、全日空ホテルニュースカイ2Fにて行います。

②4月24日(火)の例会は、夜間例会のため、同日18:30より、全日空ホテルニュースカイにて行います。

【熊本西稜RC】

4月15日(月)の例会を、西稜の森下草刈りのため、4月14日(日)に変更します。

<取止め>

下記の例会は、定款第6条第1節に基づき、例会を取りやめます。

【熊本西RC】 4月30日(火)

出席報告

松山 優喜

クラブ管理運営委員 (出席担当長)



	会員総数	26名	出席率
3月25日	出席免除会員数	2名	66.67%
	計算上会員数	24名	
	出席会員数	16名	
3月11日	前回の出席会員数	16名	76.00%
	メイクアップ数	3名	
	修正出席会員数	19名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
3/8	熊本中央RC	仙波君	
3/9	地区大会	本田君	

委員会報告

「観桜例会」について

報告者: クラブ管理運営委員 河島 一夫 会員

日時4月1日(月)18:30~場所:水前寺公園「泉里」
会費:会員7,000円・ご夫人5,000円★お座敷での開催ですが、ご要望により椅子席を10名分位準備しましたので、お座敷が苦手な方はお申し出下さい。

スマイル

大友 利行 クラブ管理運営委員
(スマイル担当長)



● 山下 佳介 君

「本日の会員増強クラブ・フォーラムは、私が進行させていただきますので、よろしくお祈いします。」

● 栗山 義則 君

「満開のさくらにスマイル！」

● 河島 一夫 君

「今日は会員が少ないので、スマイルでも…」

● 丸山 徹 君

「本日は2Fで「謝恩会」が開催されています。途中退席をお許し下さい。お詫びの気持ちでスマイルします。」

● 葉 高源 君、十時義七郎 君

「春、本番となり、暖かくなって参りました。うぐいすも鳴き、目に耳に鮮やかな景色を写す季節となりました。健康を祝してスマイル。」

● 大友 利行 君

「4週間ぶりの例会出席です。のど風邪で声も出さず休養しておりました。お詫びのスマイルです。」

2013年世界青少年奉仕デーに参加しよう

新世代の活動にクラブが積極的にかかわる方法

ローターアクト、インターアクト、RYLA、ロータリー青少年交換など、新世代との協力による活動を検討しているクラブにとって、4月26~28日の世界青少年奉仕デー(GYSD)は絶好の機会となります。

25周年を迎えるGYSDは、世界最大の青少年によるイベントの一つで、5~25歳の青少年・若者による奉仕を支援する協力団体、YSA(米国青少年奉仕)によって運営されています。

昨年は、ロータリーが関与した29のプロジェクトがGYSDに合わせて実施され、参加者は、飢餓、環境問題、保健と安全、教育、災害支援に焦点を当てた活動に取り組みました。特に、献血キャンペーンや清掃活動など、保健と環境分野でのプロジェクトが目立ちました。

GYSDのウェブサイトでは、奉仕プロジェクトのアイデアやリソースが紹介されています。プロジェクトを計画または実施した場合は、その内容をロータリー・ショーケースでぜひご紹介ください。

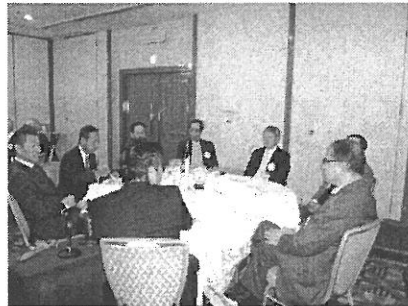
3. 例会プログラム

演題: 「会員増強クラブフォーラム」

山下 佳介会長より主旨説明の後、テーブル討議



クラブフォーラムの様子



会長による趣旨説明

Rotary Leader [ロータリーリーダー]

ポリオ撲滅のアドボカシー活動

「END POLIO NOW」を支援するために、公共の認識を高めよう

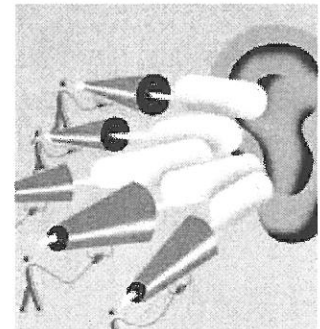
ポリオ撲滅のためのアドボカシーは、一部のシニアリーダーだけの仕事ではありません。ポリオがいまだに世界的な課題であることを確実に伝えるのは、私たち一人ひとりの責任でもあります。「グローバル・アウトルック」3月号には、ポリオ撲滅への政治的、資金的支援を呼びかける方法が紹介されています。

世界中のクラブが、ポリオ撲滅のためのアドボカシーに力を入れています。「グローバル・アウトルック:ロータリアンのためのポリオ撲滅アドボカシー入門」には、さまざまな事例が掲載されています。

コトヌー(ベナン)の12人のロータリアンは、ソーシャルメディアを活用してロータリーの「あと少し」キャンペーンを約300万人に紹介しました。ロータリアンがフェイスブックのプロフィール写真を「あと少し」の写真に切り換えた結果、フェイスブック上の友達(各125人~2000以上)がそれを目にしました。また、写真にタグづけしたり、ロータリーのポリオ撲滅活動を説明するコメントをつけた結果、その通知が友達に送られ、ポリオ撲滅に関する話題が広がり、ほかの人々も「あと少し」広告の写真をプロフィール写真に使うようになったそうです。「コトヌーで始まり、ベナンのほかの都市にも広がった」と話すのは、第20ゾーンのロータリー公共イメージ・コーディネーター、ボリス・クレスティアさんです。「その後、トーゴでもプロフィール写真を変える人たちが現れ始め、そのうちに、ガボン、コートジボワール、モロッコ、そしてフランスと、「あと少し」の写真プロフィール写真に使う人が増えていきました。大成功です」

アドボカシーに関するこのほかの情報は、www.endpolionow.org/jaをご覧ください。

ポリオ・プラス・アドボカシー活動推進資料をダウンロードまたは注文し、併せてご利用ください。



ハイライトよねやま156号より

① 寄付金速報 ー 下半期の寄付状況は ー

2月までの寄付金は前年同期と比べて2.7%増、約2,750万円の増加です。普通寄付金が2.0%増、特別寄付金が3.1%増となりました。先月から一転して、直近3年間の単月では最も低い寄付額でしたが、累計額で見ると、10億5,600万円と1番高い寄付額のまま推移しています。

東日本大震災から丸2年が経ちました。復興の兆しは見られるものの、被災地では未だ厳しい環境が続いております。このような状況ではございますが、当会へのご支援も引き続き賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

② ベトナム現地採用奨学生が感謝のスピーチ



2008年から3年間試行された「ベトナム現地採用奨学金」の最後の奨学生、ホ・ダン・ミ・アンさん（2010-13/川崎麻生RC）が、今春めでたく修士号を取得して卒業します。3月4日、当会学務・学友委員会でスピーチを行ったミ・アンさんは、留学生生活を振り返り「米山奨学生だからこそ、この3年間、一日も休まず緊張感を持ちつつ、勉強や交流などに力を尽くしました」と報告。「全国のロータリーの皆様のご寄付のおかげで、ずっと憧れていた日本留学の夢が実現できたことに感謝申し上げます。今後も交流を続けて、ベトナムと日本の懸け橋として頑張ります」と、感謝の言葉で締めくくりました。休職中の職場であるフエ外国語大学日本文化・日本語学科には4月から復職し、日本で学んだ最新の教授法で授業を行う予定で、同僚教員たちもミ・アンさんの帰りを心待ちにしているそうです。

採用当時の地区米山奨学委員長であり、カウンセラーも務めた鈴木憲治氏（川崎麻生RC）は、「無事に卒業を迎えることができ、安堵の気持ちで一杯です。論文の書き方から生活のことまで、日本に来て直面した課題の一つひとつを、彼女は相当の努力と周囲のサポートを得て成し遂げてきました。当クラブの会員にも親しまれ、昨年からはクラブ創立20周年記念事業として彼女の職場への支援も始めています。これからは成長を見守っていきます」と、喜びを語ってくれました。

③ 東京米山友愛RCが創立3周年

国内で初めて米山学友を中心に設立されたロータリークラブ、東京米山友愛RC（第2750地区）が創立3周年を迎え、記念例会が2月16日に都内レストランで開催されました。和気あいあいとした雰囲気の中、当日のハイライトとして、「スーダン障害者教育支援の会」代表理事を務める米山学友、モハメド・オマル・アブディンさん（2005-08/東京国立白うめRC）が卓話を行いました。アブディンさんには、東京米山友愛RCと台北客家RC（第3480地区）から共同で、スーダンの視覚障害児のためにと、点字盤80台が贈られました。

転勤や帰国により、子クラブの東京米山ロータリーEクラブ2750に移籍した会員もいるなど増減はありますが、現在も創立時を上回る29人の会員（うち米山学友は15人）がロータリー活動を楽しんでいます。

